

2013年12月6日

朝霞市教育委員会
教育長 和田 洋子 様

放射能から子どもを守りたい 朝霞・ひまわりの会

第二回：給食食材の放射能測定に関する要望書

朝霞市におかれましては、日頃より市民のために精力的に活動されております職員の方々へ敬意と感謝の意を表します。また、原発事故後の放射能対策に関しましても、市の努力及び対策に合わせて感謝申し上げます。

2011年3月の原発事故から早2年8ヶ月が過ぎようとしています。ふと気を抜くと、何事もなかったかのように日々の生活が営まれている錯覚に陥りますが、目に見えない放射性物質は確実に生活のあちこちに潜み、子ども達の健康を守る上ではやはり見過ごせないものであることに私たちの心配が尽きることはありません。チェルノブイリでは事故から5年後にガンや白血病の患者が目に見えて増え、25年以上が経った今でも健康被害に悩まされている人々は多くおられます。ここ日本においても事故から3年弱が経った現在、既に福島県内だけで59名の子ども達に甲状腺がんもしくは疑いがあるとの発表がされています。更には、関東の15市町で実施されている最新の尿検査で、子どもたちの7割からセシウムが検出されていた事が判明しました。

私たちに放射能のことはわからないことが多過ぎます。この先どのような健康被害が出るのか、もしくは出ないのか。少しなら大丈夫なのか、大丈夫ではないのかも分かりません。ただ、間違いなく言えることは体に取り入れれない方がいいに越したことはないという事です。大人がその努力を子ども達の為にしてあげること、そのための更なるご協力を是非とも朝霞市におかれましては承れますよう、よろしくお願い致します。

つきましては、2013年1月に提出させて頂いた要望書に引き続き、改めて給食の放射能対策に関して以下のとおり要望させていただきます。

なお、ご多忙の折大変恐縮ではございますが、2週間を目処に話し合いの場を設けていただき、その際にご回答を書面にて頂戴できますよう、何卒よろしくお願い致します。

① 給食の放射能検査は一食丸ごと検査ではなく、放射性物質の検出が予測される食材の単品での事前検査をお願いします。

現在朝霞市で行われている一食丸ごとの検査では、たとえ高い放射性物質が含まれている食材が使用されていたとしても一食で計測した場合は検出が難しい事が予測されます。原発事故から3年弱、放射性物質が検出されやすい食材の傾向は多少明らかになってきています。被ばくを最大限に避けるために、検出が予測される食材（過去に検出されているもの、原子力災害対策本部が示した対象自治体17都県産のもの、など）の単品での事前検査をお願いします。

② 牛乳は検出限界値1ベクレル/kg以下での定期的な測定をお願いします。

牛乳は特に放射性物質が含まれやすく、また毎食出される食材です。ゲルマニウム半導体検出器での検査をお願いします。

③ 放射性物質が検出された食材はHP上で実測値を公表の上、使用を中止してください。

放射性物質による内部被ばくは、たとえ少量といえども身体にリスクを及ぼします。放射性物質が検出された食材はHP上でその実測値を公表の上、使用の中止をお願いします。

④ 月単位で納品されるものはその都度事前検査をしてください（調味料やだし原材料などの単品検査）。

月単位で使用される食材は月ごとの事前検査を単品でお願いします。

⑤ 産地の事前公開をお願いします。